

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策における、近隣との協力体制が乏しい。	災害時に近隣の協力を得ながら利用者の安全を確保することが出来る。	運営推進会議にて議題として毎回取り上げ、町内会と関わりいざという時に備えて日頃から近隣との交流を深め緊密な連携を図るよう努める。	6か月
2	6	日中も施錠状態になっている場合がある。	施錠をしなくても安心して生活が出来る環境を作る。	職員会議・勉強会にて身体拘束、施錠の時間を減らす取り組みについて話し合う機会を設け、日中職員が見守りにて開錠の見守りを強化するようにする。	3か月
3	10	利用者や家族からの意見や要望を取り入れられるよう意見箱を設置しているが、なかなか意見があがってこない状況にある。	様々な意見や要望を取り入れながら、より良いグループホームの運営に役立てていくことが出来る。	普段から家族とのコミュニケーションを図り、気軽に意見を話し合える関係を構築するとともに、意見箱をより活用できるようご家族へ案内等にて周知を図る。	6か月
4	26	介護計画書とモニタリングや経過が別のファイルに綴られている為、検索し難い。	ファイルを見て個々の介護計画や経過を把握し、状態を理解できる。	各資料を整理し一つのファイルにまとめる。	1か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。